

静脈注射 I ・ II

2025.5.29 ▶▶▶ 5.30

講義

薬剤師より注射剤に関する基礎知識について、業務担当副看護部長より静脈注射に関する法的解釈や看護業務の法的位置づけについて、講義がありました。また、看護職キャリア支援教育担当副看護師長の講義では、静脈注射の基礎知識と手技について学び、演習に臨みました。



当院「医療安全ポケットマニュアル」の内容を確認しました！▶



講義・演習から学んだこと

- 静脈注射は薬剤の効果発現が早い一方、身体への影響が大きいので、7R確認やダブルチェックを徹底することが大切だと感じた。
- 静脈注射による合併症や副作用を理解し、投与後も適切な観察と対応を行うことが重要だと学んだ。

演習

演習では、翼状針の留置と側管注からの薬液注入について手技を学びました。7R確認やフルネームでの患者確認など、4月の技術研修から学習してきたことを実践しながら、丁寧な声掛けや患者説明を行っていました。



7つのRight(7R)の確認

患者照合システムを用いた患者確認



翼状針

翼状針の穿刺、固定、抜針を行いました。血管や神経の走行を考え、固定が容易で患者さんが安楽な穿刺部位を選定していました。研修者同士で実際に穿刺し、安全装置を作動させながら安全に抜針していました。



側管注

腕モデルを使用し、側管注からの薬液注入や、陽圧ロックを実施しました。薬剤に応じた注入速度や作用・副作用を確認し、注入時の疼痛や穿刺部位の異常を観察しながら安全にケアを行っていました。

